

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Tebakari M, Daigo Y, Ishikawa H, Nakamura M, Kawashima J, Takano F. Anti-Inflammatory effect of the water-soluble portion of porcine placental extract in lipopolysaccharide-stimulated RAW264.7 murine macrophage cells. *Biol. Pharm. Bull.*, 41, 1251-1256 (2018)
- 2) Kubota A, Shindo H, Fukushima Y, Komatsu T, Sakurada T, Yasuda T, Fushiya S, Kondo Y, Sakurada C, Takano F. Effects of Kampo extract boiogito and its alkaloid sinomenine on nociceptive pain in mouse models. *Pharmacometrics*, 92, 83-89 (2017)
- 3) Allam AE, Nafady AM, Hassanein AMM, Mostafa MAH, El-Shanawany MA, Takano F, Ohta T. Two new *p*-coumaroyl flavonoid glycosides having cytokine increasing activity from *Centaurium spicatum* L. *Phytochem. Lett.*, 17, 144-151 (2016)
- 4) Allam AE, Nafady AM, El-Shanawany MA, Takano F, Ohta T. New secoiridoid ester of swertiamarin and secoxyloganic acid with hepatoprotective activity from *Centaurium spicatum* L. *J. Pharm. Pharmacogn. Res.*, 3, 69-76 (2015)
- 5) Takano F, Tebakari M, Hashimoto H, Mori Y, Nakamura M, Wagatsuma S, Yoshida S, Kawashima J, Yasuda T, Fushiya S. Placenta extracts selectively promote the proliferation of specific progenitor cells derived from murine marrow in vitro. *Pharmacometrics*, 89, 83-90, (2015)
- 6) Tebakari M, Katoh S, Hashimoto H, Kawashima J, Takano F. Porcine placenta extract modulates the expression of skin functional proteins in cultured human fibroblasts and keratinocytes. *Pharmacometrics*, 88, 1-6, (2015)
- 7) 須藤麻里, 加藤卓, 入澤恵, 市澤恵, 石原克之, 佐久間晃, 伏谷眞二, 高野文英. じゃがいも皮抽出物の経口投与によるマウスパリエル板細胞のサイトカイン産生への影響. 日本補完代替医療学会誌, 11, 107-110, (2014)
- 8) Yahagi N, Shimano Y, Yahagi R, Kato S, Sakurada C, Yasuda Y, Ohta T, Fushiya S, Takano F. Liquid culture filtrate of *Paecilomyces tenuipes* does not reduce tumor growth but ameliorates hematotoxicity caused by mitomycin C in tumor-bearing mice. *Pharmacometrics*, 86, 63-69, (2014)
- 9) Yahagi N, Shimano Y, Yahagi R, Kato S, Sakurada C, Yasuda T, Toda M, Toda S, Fushiya S, Ohta T, Takano F. The liquid culture filtrate of a new entomogenous fungus, *Paecilomyces* species from stag beetle, up-regulates ileal immune responses in mice ex vivo. *Pharmacometrics*, 86, 49-56, (2014)
- 10) Yoshikawa C, Koike K, Takano F, Sugiura K, Suzuki N. Efficacy of porcine placental extract on wrinkle widths below the eye in climacteric women. *Climacteric*. 17, 370-376, (2014)

[著書]

- 1) 高野文英 (分担), スパイス百科 ～起源から効能、利用法まで～, 丸善出版 (東京), (2018)
- 2) 高野文英 (分担), 知っておきたい未病対策～エビデンスに基づいたサプリメント予防医学への応用～, 宇宙堂八木書店 (東京), (2016)

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 中村桂馬, 三浦紗旺里, 佐藤麻衣, 中村実香, 山本博之, 高野文英, 木村道夫, 真菌おけるベルベリン類の細胞膜透過性及び細胞内局在性と増殖抑制, 日本薬学会大 139 年会, 3 月, 千葉 (2019).
- 2) 木村道夫, 佐藤麻衣, 中村実香, 高野文英, 下川修, *Candida albicans* に対するアゾール系抗真菌薬存在下でのトキハダ抽出物の抗真菌作用, 日本薬学会大 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 3) 手計雅彦, 大郷由貴, 中村実香, 川島順市, 高野文英, ウマプラセンタエキスの繊維芽細胞増殖作用におけるウマサイタイエキスの相乗効果, 第 20 回日本補完代替医療学会学術集会, 12 月, 池袋 (2017).
- 4) 手計雅彦, 大郷由貴, 中村実香, 川島順市, 高野文英, 5-fluorouracil (5-FU) 誘導による骨髄抑制マウスに対する馬プラセンタエキスの予防効果, 日本薬学会大 137 年会, 3 月, 仙台 (2017).
- 5) 手計雅彦, 大郷由貴, 中村実香, 石川裕樹, 川島順市, 高野文英, ブタプラセンタエキスによる LPS 活性化マクロファージ細胞 (RAW264.7) の炎症反応抑制作用, 第 19 回日本保管代替医療学会学術集会, 11 月, 金沢 (2017).
- 6) 福島康仁, 水島彩佳, 石川愛弓, 塙大介, 福田彩, 宮根浩一, 伏谷眞二, 櫻田誓, 高野文英, 華岡青洲処方『通仙散 (麻佛散)』の抗侵害刺激作用について (2), 日本薬学会大 136 年会, 3 月, 横浜 (2016).
- 7) 福島康仁, 水島彩佳, 石川愛弓, 塙大介, 福田彩, 宮根浩一, 伏谷眞二, 櫻田誓, 高野文英, 華岡青洲処方『通仙散 (麻佛散)』の抗侵害刺激作用について, 第 59 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 千葉 (2016).
- 8) 新藤祐久, 水島彩佳, 窪田篤人, 伏谷眞二, 櫻田誓, 高野文英, 防己黄耆湯およびシノメニンの抗侵害刺激作用に関する研究, 第 59 回日本薬学会関東支部大会 (日本大学薬学部), 9 月, 千葉 (2016).
- 9) 松井優子, 中林永理香, 橋本真衣, 山本華穂, 吉田聡見, 我妻志保, 高野文英, 六君子湯及び四君子湯の消化管免疫応答に及ぼす影響 その 2, 日本薬学会大 135 年会, 3 月, 神戸 (2016).
- 10) 手計雅彦, 大郷由貴, 中村実香, 川島順市, 高野文英, ブタプラセンタエキスの腸管免疫応答に及ぼす影響, 日本薬学会大 135 年会 日本薬学会大 135 年会, 3 月, 神戸 (2016).
- 11) 手計雅彦, 加藤卓, 橋本遥, 川島順市, 高野文英, ブタプラセンタエキスのヒト皮膚細胞に及ぼす影響について, 日本薬学会大 134 年会, 3 月, 熊本 (2015).
- 12) 大澤怜以, 竹田真, 嶋雄一郎, 加藤卓, 高野文英, 六君子湯および四君子湯における消化管免疫応答におよぼす影響, 日本薬学会大 134 年会, 3 月, 熊本 (2015).
- 13) 橋本遥, 森美乃, 加藤卓, 手計雅彦, 川島順市, 高野文英, プラセンタエキスのマウス骨髄の血球分化増殖に及ぼす影響, 日本薬学会大 134 年会, 3 月, 熊本 (2015).
- 14) 加藤卓, 嶋雄一郎, 竹田真, 高野文英, 伏谷眞二, コーヒーおよびコーヒー成分の腸管免疫応答制御作用に関する研究 (1), 日本薬学会大 134 年会, 3 月, 熊本 (2015).
- 15) 安田高明, 山本愛子, 高野文英, 伏谷眞二, 船山信次, 高柳 寛, 中野裕子, 高橋知也, ソリザヤノキ *Oroxylum indicum* に含まれるヒアルロン酸産生促進物質, 日本薬学会大 134 年会, 3 月, 熊

本 (2015).

- 16) 須藤麻里, 加藤 卓, 入澤 恵, 市澤 恵, 石原克之, 平林真一, 古賀秀徳, 佐久間 壘, 伏谷眞二, 高野文英, じゃがいも皮抽出物の経口投与によるマウスパリエル板細胞のサイトカイン産生への影響, 日本農芸化学会 2014 年度大会, 3 月, 東京 (2014).

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

単位科目

- 1) 2017～現在に至る, 薬用植物学 (1 年後期)
- 2) 2015～2017, 漢方薬剤学 (4 年前期)
- 3) 2014～2015, 漢方製剤学 (6 年前期)
- 4) 2014～現在に至る, 薬学総合演習 IA (4 年前期, 2 コマ)
- 5) 2014～現在に至る, 薬学総合演習 IB (4 年前期, 2 コマ)
- 6) 2014～現在に至る, 薬学総合演習 II (6 年前後期, 4 コマ)

学生実習

- 1) 2018～現在に至る, 天然医薬品分析実習 (3 年前期)
- 2) 2017～2018, 応用薬学実習 (3 年前期)
- 3) 2014～2017, 薬用植物学実習 (2 年前期)

2. その他特筆すべき教育業績